



報道発表資料の配付日時 11月25日(金) 10時00分

発表項目 (行事名)	令和4年度(2022年度)第1回タンチョウ越冬分布調査の実施について																												
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)		発表者																										
			発表場所																										
	<p>絶滅危惧種タンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的に、環境省の委託を受け道が毎年実施している本調査について、次のとおり今年度第1回目の調査を実施しますのでお知らせします。</p> <p>1 調査の概要</p> <p>(1)日時 令和4年(2022年)12月2日(金) 8:50～9:10 悪天候などにより中止の場合は12月9日(金)に延期。</p> <p>(2)場所 道内10(総合)振興局、45市町村管内の計349箇所を予定 空知管内では長沼町、栗山町、由仁町のタンチョウ飛来地</p> <p>(3)調査協力者 関係市町村、鳥獣保護監視員、関係市町村教育委員会、関係小中学校など (空知管内では関係町、鳥獣保護監視員、長沼町立長沼小学校など)</p> <p>(4)調査の内容 地元小学校や関係機関等の協力のもと、タンチョウの見られた場所や大まかな個体数を記録します。</p> <p>(5)参考 各年度2回実施し、今年度第2回の調査は令和5年(2023年)1月24日(火)に実施する予定です。</p> <p>2 調査結果の公表 調査結果は各(総合)振興局で集計したものを、環境生活部自然環境課で全道分を取りまとめ、12月下旬から1月上旬に公表します。</p> <p>3 空知管内の過去のタンチョウ観察確認羽数(各年度第1回調査) 空知管内では、平成30年度に初めて調査で確認されてから、毎年2～3羽が確認されています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>0羽</td> <td>3羽</td> <td>2羽</td> <td>3羽</td> <td>3羽</td> </tr> <tr> <td>成鳥</td> <td>—</td> <td>3羽</td> <td>2羽</td> <td>2羽</td> <td>2羽</td> </tr> <tr> <td>幼鳥</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1羽</td> <td>1羽</td> </tr> </tbody> </table>						H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	合計	0羽	3羽	2羽	3羽	3羽	成鳥	—	3羽	2羽	2羽	2羽	幼鳥	—	—	—	1羽	1羽
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度																								
合計	0羽	3羽	2羽	3羽	3羽																								
成鳥	—	3羽	2羽	2羽	2羽																								
幼鳥	—	—	—	1羽	1羽																								
参 考	<p>タンチョウ越冬分布調査において、初回調査の昭和27年度に道内で33羽が確認されてから、令和3年度調査では過去最多となる1525羽が確認されています。また、道東だけでなく道北や道央でも調査で確認されるようになっていきます。</p> <p>令和4年度(2022年度)第1回タンチョウ越冬分布調査の詳細及び過去のタンチョウ越冬分布調査の結果(タンチョウ羽数の推移)につきましては別紙をご参照下さい。</p>																												
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 長沼町内飛来地では、長沼小学校の児童が調査に協力してくれますので、ぜひ積極的な取材をお願いします。また、当日の調査の取材をご希望の場合は、協力小学校との調整を要するため、事前に振興局へご連絡ください。</p> <p>○ なお、事前報道にあたっては、円滑な調査実施のため、調査箇所の報道はされないようにお願いします。</p>																												
他のクラブとの関係	同時配布 北海道庁(本庁)記者クラブ																												
担 当 (連絡先)	○ 空知総合振興局保健環境部環境生活課長 角谷 栄政 TEL 0126-20-0160																												

令和4年度(2022年度)第1回タンチョウ越冬分布調査について

1 調査の趣旨

絶滅のおそれが懸念されるタンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的に毎年実施しているものです。

地元小・中学校や関係機関等の協力のもと、調査の基礎的な手法やタンチョウ保護の歴史について学ぶことができるよう調査を進め、見られた場所や大まかな個体数を記録します。

2 調査主体

北海道(環境省委託)

3 調査協力機関等

関係市町村、関係市町村教育委員会、釧路市動物園等関係機関、関係小・中学校、日本航空株式会社、タンチョウ給餌人など

4 調査対象地域

十勝、釧路、根室管内を中心としたタンチョウ生息地及び飛来地全域

※ 現在のところ、空知、石狩、後志、胆振、日高、宗谷、オホーツク、十勝、釧路、根室の10(総合)振興局管内45市町村管内の計349箇所について調査を実施予定

5 調査期日

令和4年(2022年)12月2日(金)

※ 荒天時予備日 12月9日(金)

6 調査時間

- (1) 事前予備調査(参考) 午前8時50分から午前9時00分まで(10分間)
- (2) 本調査 午前9時00分
- (3) 事後予備調査(参考) 午前9時00分から午前9時10分まで(10分間)

7 調査方法

地上からの目視により調査を行います。

8 調査内容

次の事項について調査・記録を行います。

- (1) 着地しているタンチョウ
 - ・羽数(幼鳥、成鳥、不明の別)
 - ・場所(地点名)
- (2) 飛翔中のタンチョウ
 - ・羽数(幼鳥、成鳥、不明の別)
 - ・場所(地点名)
 - ・飛来又は飛去の方向
- (3) 確認時刻

9 調査結果の集計、公表

調査結果は関係(総合)振興局で集計し、本庁で全道分を取りまとめた後、12月下旬から1月上旬に公表します。

過去のタンチョウ越冬分布調査の結果

○これまでのタンチョウ羽数の推移（昭和27年度から令和3年度 合計羽数）

